

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	新しい職員が入社し、理念が十分に浸透されていない。意識付け出来ていない。	理念について全職員に意識付けを行い、日々のケアに活かしてゆく。	理念の重要性について内部研修にて習得し、全職員に具体的にイメージできるように作り上げる。	3ヶ月
2	35	地域を交えた避難訓練が出来ていない為、地震や津波の際の避難、協力体制が整っていない。早急に体制の構築が必要。	地域の方々にも避難時に協力が得られる様定期的に交流を持つ。また、地域の消防団の方を始め地域の方々にも事業所の避難訓練に参加して頂く。	運営推進会議に地域の消防団の方や消防署職員の方に参加頂き避難訓練の協力を得る。会議の場で避難の体制や経路を十分話し合い、年2回の非難訓練に参加して頂く。	3ヶ月
3	6	身体拘束についての内部研修が出来ていない、又は外部研修に参加出来ていない。その為、正しく理解できているとはいえない。	全職員が身体拘束についての正しい知識を習得すると共に、身体拘束をしないケアに取り組む。	外部研修に参加し、定期的に内部の勉強会を行い、身体拘束を正しく理解する。今一度事業所ないで身体拘束が簡単に行なわれていないか検討する。緊急やむを得ない場合であっても十分話し合う場を設け、なるべく拘束を解除するよう努める。	3ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。